



公式ホームページ

第74回全国植樹祭岡山2024が開催されます
令和6年5月26日(日)に岡山ジップアリーナで
開催されます。現在、木製地球儀を県内で巡
回展示されています。
【笠岡市では11/30に中央公民館で展示】

トピックスに関連してQRコードで該当ページにリンクしていますのでご参照ください。

★脱炭素経営促進★
脱炭素ビジネスチャンスにむけてパンフレットが完成しました。



★障害福祉補助★
障害児通所支援事業所における子どもの安全対策事業補助。



★ももっこカード★
令和6年1月15日
アプリ版運用開始!



★コト物価高騰対策★
地域医療介護総合確保
基金事業補助金



★教育分野でのデジタル化★

岡山県の教育施策として、学校DX化の推進は県立高等学校の今年度実施する入試※からインターネット出願を導入し、出願や手数料納付の手続きをデジタル化しています。また会議資料のデジタル化や保護者アンケートのデジタル化デジタル採点システムなども導入して業務改善をしています。※正式には入学者選抜

★中学校卒業見込者の進学希望一次調査★

中学生の今年度卒業見込者に対する進学希望調査がされました。該当者は16,909名で昨年よりも330名の減少となっています。また、定員に対する全日制県立高等学校への進学希望率は1.08倍と定員に満たない学校が多々ある一次調査となっています。地域の学校における存続にもかかわる事案でもあり今後も注視していきます。

岡山県議会事務局



SAKAMOTO DATE

昭和49年 6月 岡山県笠岡市生まれ
笠岡市立城見小学校・金浦中学校・近畿大学附属福山高等学校
広島経済大学経済学部 卒業
卒業後は保険代理業を営み、防災士や陸上競技の指導者として活動中。
令和 2年 4月 笠岡市議会議員初当選
令和 5年 4月 岡山県議会議員初当選
文教委員会、防災・環境対策・スポーツ振興特別委員会
[役職]
日本防災士会岡山県支部 監事/陸上競技協会 副会長 他多数

坂本りょうへい
公式ホームページ



【編集後記】
前号に誤字・誤表記がありました。限られた時間で自らが作成しており、お見苦しい点がありましたことお詫び申し上げます。作成者：坂本亮平

笠岡市にお住いの皆様へ

KAGAYAKI Vol.02 2024.1
坂本りょうへい 県政レポート

坂本りょうへい事務所
〒714-0088 岡山県笠岡市中央町34-14
TEL/FAX 0865-61-4117
info@ryohei-sakamoto.com

県政の担いを頂戴し、はや一年が来ようとしています。地域に寄り添い、県政からふるさとをしっかりと応援することを柱にこれまで汗を流して参りました。これからも変わらず県民に寄り添った人にやさしい身近な政治を目指し、ふるさとの為に地域の発展に寄与していきたいと思っております。9月・11月定例会までの県政レポートを発行させていただきます。

岡山県議会議員 坂本亮平



みんなの笑顔が創るふるさとのために

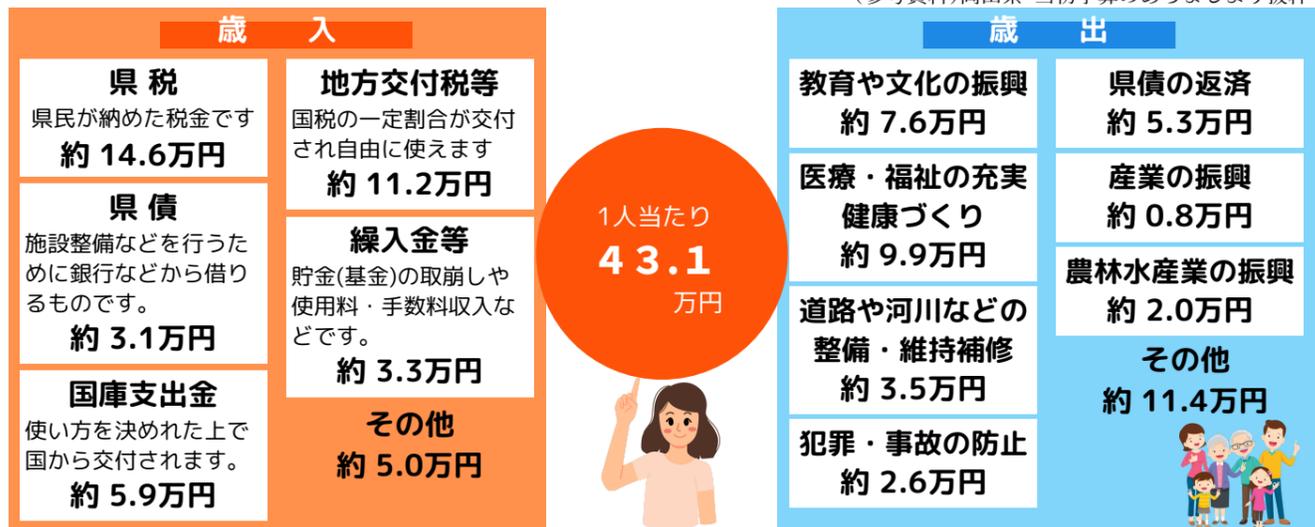
— 学びと実践からふるさとを元気にしたい —

9月・11月定例会の概要

9月定例会(会期 9/5-9/29)

一般会計補正予算として22億9,800万円（内、繰入金20億7,100万円）が提案され可決となりました。これによって、一般会計の予算総額は**8,133億8,900万円**の歳入歳出額となっています。補正予算の内訳はコロナにおける医療機関への交付金が多く支払われたことが判明し医療機関より返納交付金18億4,900万円、5月の大雨により倉敷市と総社市を結ぶ「川辺橋」の橋脚が傾いたことに伴う安全対策や仮設の橋の設計などに4億4,900万円等を道路整備事業費となります。

岡山県の歳入歳出額を参考までに県民一人当たりの予算額として算出したデータが以下となります。



【参考】令和5年一般会計の当初予算総額(8,021億7,300万円)を岡山県人口(約190万人)で割ると、一人当たり約43.1万円の予算が使われているということになります。

11月定例会(11/30-12/22)

11/2に閣議決定されたL P ガスを使用する家庭等の負担軽減や物価高騰の影響を受ける医療機関支援、防災・減災、国土強靱化への対策に対し、一般会計追加補正予算301億9,864万円（内、国庫支出金160億7,730万円・県債133億2,200万円ほか）が提案され可決されています。これによって、一般会計の予算総額は**8,443億2,200万円**となっています。補正予算の概要としては、物価高騰対策（L P ガス使用負担軽減・特別高圧電力利用の中小企業負担軽減など）33億3,196万円、物価高騰を受ける医療機関や介護施設への支援10億7,596万円、防災・減災、国土強靱化対策を含む流域治水などへ233億5,395万円を計上しています。

また、請願・陳情案件も多数提出され所管委員会で審査し結果が報告されています。

【採択した陳情案件】

- (陳情) 介護福祉士養成教育に対する支援要望について
- (陳情) 介護福祉士養成に係る離職者訓練制度の継続実施について
- (陳情) 令和6年度森林土木関係費確保等について



💡 (一般会計) 地方公共団体の会計区分の1つで、財政を包括的に経理する会計であり福祉や教育、消防など住民に広く行われる事業に対しての歳入歳出の会計をいいます。

岡山県の財政調整基金

地方自治体における年度間の財源の不均衡を調整するための積立金です。標準財政規模の10%~20%が適正と言われており、本来であれば230億程度が必要ですが、現在の状況は85億円となり最低限の目安として西日本豪雨時の災害支出金は確保しています。



討議資料

【9月議会一般質問 公共交通、人・農地プラン 他 抜粋】

質問：坂本 **【公共交通の在り方について】** 地域において超高齢化を迎える状況を鑑み、地域を守る公共交通の在り方について知事の認識を尋ねる。



知事 地域公共交通は地域生活や経済活動を支える重要なインフラであり、再編や利用促進を講じて地域住民の移手段を確保する。

質問：坂本 笠岡市におけるフェリー航路休止にあたり県として地域に対するヒアリングや人流・物流の動向調査等を行い航路休止による影響把握を早急に行う必要があるが部長の見解を尋ねる。

県民生活部長 影響の把握が必要であり運航やダイヤなど笠岡市と共同して支援していく。

質問：坂本 県内でも地域公共交通の存続にかかわる事案は同様に起こると考えるが、県内に目を向け県民が安心して暮らせるようにきめ細かい対応が必要と考えるが知事の所見を尋ねる。

知事 地域公共交通を取り巻く環境は地域の実情に応じて適切な対応が必要であり、市町村との連携を密にしてきめ細やかな支援をしていく。

質問：坂本 **【農地利用の地域計画について】** 人・農地プランを法定化し市町村が令和7年3月までに地域計画を策定することになっているが市町村の担当者レベルでの差が生まれているとの声も聞くが、県として活用できる補助金の紹介や説明会の開催などフォローアップ等をするのかを尋ねる。



農林水産部長 県内に34のモデル地区を選定している。計画策定で得られたノウハウを展開し、地域の話し合いの場には県として積極的に参画しフォローアップをしていく。

【11月議会一般質問(部活動、障がい者スポーツ、道路、文化財 他 抜粋)】

質問：坂本 **【部活動の地域移行について】** 部活動地域移行モデル4市町からなる実証研究連絡会の進捗や連携状況を尋ねる。

教育長 種目によっては成果が出ている。4市町との連携は支援アドバイザーを派遣するなど来年の成果発表で県内に普及していきたい。

要望：坂本 大人の事情で子ども達の大切な時間を無くさないようにしていただきたい。



質問：坂本 **【障がい者スポーツについて】** 障がい者スポーツ指導者の育成と活動の場の確保について、状況と取組み、競技スポーツだけでなく生涯取り組めるスポーツへの環境整備の取組みを尋ねる。

子ども・福祉部長 指導員養成講習会等を実施し育成を図っている。今後も育成と活動の場の拡充に取り組み、障害特性に応じた配慮や工夫によるハード・ソフト両面で環境整備に努めていく。

質問：坂本 **【玉島・笠岡道路等の整備について】** 県西部ではバイパス開通やスマートICなど設置に対し、予想されるリスクに備えヒヤリングや地域に寄り添った安全対策をするのか。また変化に伴い、農業振興地域解除を含めた柔軟な対応を望めるかを尋ねる。

土木部長 バイパス開通やスマートICの設置により周辺道路の交通量が増加すると見込まれる。地域の声を聴きながら国・市町と連携して渋滞緩和や安全対策にしっかりと取り組んでいく。
農林水産部長 地域の声を大切にし、限られた土地の利用を検討することは重要であり周辺の利用状況を踏まえて最適な土地利用が図れるように市町村と十分に連携していく。

質問：坂本 **【文化財について】** 文化財の認定は地域活性やまちづくりに寄与しているが、維持管理について所有者負担は大きく、資金繰りは大きな問題である。持続可能な文化財の維持について尋ねる。

教育長 県の補助制度はあるが行き届いていない状況にある。今後も所有者に対して民間団体の助成制度やクラウドファンディングなど、資金調達に関する情報提供に取り組んでいく。

討議資料